

令和5年第11回下松市教育委員会定例会議事録

- 1 開催日時 令和5年11月16日(木) 午後1時30分～午後2時5分
- 2 開催場所 下松市役所 5階 501会議室
- 3 出席委員等
教育長 玉川 良雄
委員 江口 雄二
委員 林 哲人
委員 木佐谷 真理子
委員 笠谷 由美子
- 4 会議に出席した事務局職員
教育部長 河村 貴子
教育次長 深野 浩明
学校教育課長 藤田 康伸
学校給食課長 藤井 亮英
生涯学習振興課長 引頭 康行
図書館長補佐 長弘 純子
- 5 会議の書記 教育総務課課長補佐 金子 麻紀
- 6 会議録の署名委員 林 哲人 木佐谷 真理子
- 7 会議の傍聴人 0人
- 8 会議に付した議題
(1) 報告第28号 第73回下松市民美術展覧会について
(2) 報告第29号 第21回「笑顔の写真」コンテストの結果について
- 9 会議の付議の顛末

○**教育長** 本日の議事録署名人ですが、林委員さんと木佐谷委員さんでお願いをいたします。
それでは、早速議事に入ります。

(1) 報告第28号 第73回下松市民美術展覧会について

○**教育長** (1) 報告第28号、第73回下松市民美術展覧会についてを議題といたします。
担当のほうで説明をお願いいたします。引頭課長。

○**生涯学習振興課長** 報告第28号、第73回下松市民美術展覧会についてご報告いたします。
資料は1ページです。

また、本日、入賞作品についてお配りしておりますので、併せて御覧いただきたいと思います。

市民美術展覧会につきましては、11月3日、今月3日から7日までの5日間、スターピアくだまつ展示ホールにおいて開催いたしました。

今年度は136作品、111人から出展があり、来場者は約800人となっております。

開催に先立ちまして、公開審査により市美展大賞、各部門賞、優秀賞、教育委員会奨励賞、後援団体の賞並びに40歳以下のヤングアーティスト賞を決定し、11月3日に文化功労賞と併せて表彰式を行っております。

以上、報告を終わります。

○教育長 市美展について説明がありました。質問がありましたらよろしくお願いたします。では、私のほうから質問します。

絵画と立体と平面とがありますが、それぞれどのぐらいの作品応募があったのか分かりますか。

引頭課長。

○生涯学習振興課長 部門につきましては、平面、立体、書道、写真の計4部門でございます。平面が39、立体が21、書道が41、写真が35となっております。立体が最も少なく21作品、今年度は書道が一番多く41作品となっております。

以上です。

○教育長 もう1ついいですか。

来場者について、市美展にどのぐらいの市民の方が鑑賞されたのか、その数の増減についてもお願いたします。

引頭課長。

○生涯学習振興課長 資料にございますように、今年度は802人来場がございました。昨年は750人ぐらいです。コロナも落ち着いて、若干増えているという感触は持っております。以上です。

○教育長 ありがとうございます。

江口委員。

○江口委員 感想なのですが、毎回この美術展覧会を見ているんですけども、年々皆さんレベルが高くなってきています。特に、写真はすごくレベルが高いです。これは大変いいことだと思うのですが、このような子供たちの絵画コンクールは学校で何かあるのですか。市が主催した絵画コンクールがあれば教えてください。

○教育長 藤田課長。

○学校教育課長 市美展がありまして、学校の授業や、夏に子供が作品を描いたものの中から選んで、今年はスターピアのほうで展示しております。絵に限らず、粘土で作られた作品とか、別途夏休みの工作や研究とかも併せて展示しております。

○江口委員 それは全校ですね。何か子供たちの発表の場を設けて、どんどん活動の場を増やせたほうがいいと思うし、子供の発表の場を作るとやる気になるし、やはり褒めてもらったり何か賞に入るとますますやる気になるので、展覧会とかコンクールをどんどんやっ

てほしいと思います。

以前、金井さんが全国の感想文コンクールをやっていました。今はなくなりましたが、とてもいいことなので、全国でなくても市だけの感想文コンクールとか、市だけの絵画コンクール等、何かいろいろと、子供を表に出すような企画を検討して、ぜひ開いていただきたいと思います。

以上です。

○**教育長** 藤田課長。

○**学校教育課長** 子供たちの活躍の場面というのをつくっていくというのは大事だと思っております。コロナも一段落したというか5類に変わって、今後そういった活動も活発になってくると思っておりますし、また新しい方向性というのも生まれてくると思いますので、また学校とも相談しながら進めていきたいと思っております。

○**教育長** 先ほど藤田課長が申しましたけれど、市教委だけではなくて、小中学校の教職員の研修会というのがありまして、その共催でやっております、それぞれ優秀な作品については賞を与えています。全校児童の前で各学校で披露をしています。

そのほかございますか。

報告事項ですので、ご承認をよろしくお願いいたします。

(2) 報告第29号 第21回「笑顔の写真」コンテストの結果について

○**教育長** 続きまして、報告第29号、第21回笑顔の写真コンテストの結果についてを議題といたします。

担当のほうで説明をお願いいたします。

引頭課長。

○**生涯学習振興課長** 報告第29号、第21回笑顔の写真コンテストの結果についてご報告いたします。資料は2ページになります。

今年度は、笑顔の写真コンテストに208作品の応募がございました。10月19日に1次審査、11月9日に2次審査を行いまして、20作品の入賞作品を決定しております。また最優秀賞は1点、優秀賞は5点、入選が14点となっております。本日入賞作品等一覧をお配りしております。ご確認いただけたらと思います。

展示につきましては、12月2日から17日まで、スターピアくだまつロビーで応募全作品を展示いたします。ぜひ御覧いただけたらと思います。

報告は以上です。

○**教育長** 質疑に入ります。ご質問案ある方は挙手をお願いいたします。

では、私からいいですか。

賞を今年から最優秀賞と優秀賞の2種類に変更されておりますが、昨年度までと比べて、

感触というか自己評価はどうか。

引頭課長。

○生涯学習振興課長 今年度は部門賞をなくしております。笑顔の部門と親子の部門の2部門あったものを、部門を廃しまして全ての作品を1つの評価という形で実施いたしました。

これまで、実際は笑顔の写真コンテストですので、親子の部門につきましては非常に出展数が少なかったというのがありますので、一本に統一したことで、親子の写真も含めていい作品が選ばれたのではないかと考えております。今回の入選の中にも優秀賞にも親子、入選にも親子の写真も入っております。大家族の写真も入っております。全てを1つの部門として良い評価ができたというふうには考えております。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。

林委員。

○林委員 いつも必ず1位を取られるような方がいらっしゃったと思うのですが。

○生涯学習振興課長 今回は応募がありませんでした。このコンテストが写真の技術というより、本当に日常の笑顔が素敵なその瞬間を捉えたような、スナップ写真のようなものがたくさんございまして、写真展に出される方はあまり出してないかもしれません。

○教育長 江口委員。

○江口委員 毎年この1次審査をしているのですが、傾向として、本当に今言われたように自然の笑顔の写真が多くなってきました。とてもいいのは家族で撮った写真、あるいは友達と撮った写真など、自然の笑顔が出ています。こういったものが選ばれて、大変いい感じになっています。どの写真を見ても自然の笑顔です。ぜひこの傾向を続けましょう。

○教育長 お褒めの言葉を頂きましたが、引頭課長。

○生涯学習振興課長 頑張っていきたいと思います。

○教育長 そのほかございますか。

それでは、報告事項ですので終了し、承認していただきたいと思います。

～ その他報告・連絡事項 ～

○教育長 それでは、続きましてその他の報告事項に入ります。

まず、表彰報告につきまして説明をお願いいたします。

河村教育部長。

○教育部長 表彰につきましてご報告をしたいと思います。

令和5年度の秋の叙勲でございます。今日お配りしております紙を御覧ください。

まず、秋の叙勲お二方お名前が挙がっております。瑞宝双光章として教育功労、元公立小学校長の甲木眞知子さんでございます。当時久保小学校校長で退職されています。それ

ともうひとつ、同じく瑞宝双光章、教育功勞で、元小学校校長であります弘田靖さん、弘田先生は下松小学校校長で退職をされております。

伝達式は、11月13日にホテル椿山荘東京のほうで行われております。皇居のほうで拝謁がございました。

それから次に、優良PTA文部科学大臣表彰です。下松市立末武中学校PTAがこのたび選ばれております。11月24日ですので、これからですが、日本PTA全国協議会創立75周年記念式典が東京のホテルニューオータニで開かれますので、こちらで表彰を受けられる予定でございます。

次に、地域文化功勞者表彰です。文部科学大臣表彰ということで、芸術文化、一般社団法人山口県書道連盟常任顧問の中村謙一様、雅号は中村松泉様が表彰を受けられます。11月16日の表彰でございますので本日ということですが、京都府立府民ホール・ALTIというところで表彰式がございますので、ご受章でございます。

それから最後に、山口県選賞、教育功勞ということで、元下松市教育委員会の委員を務めていただきました合田克己様です。県選奨をお受けになります。11月20日に県庁のほうで表彰式がございます。

それぞれの部門に、皆様本市の教育、それから文化芸術の振興に非常に大きなご貢献をいただいております。心からお祝いを申し上げたいと思います。さらにますますのご活躍、ご健勝を心からお祈りしたいと思います。

報告は以上です。

○教育長 叙勲と文科大臣表彰、県選奨ですね。教育功勞者がたくさん選ばれたということで喜ばしいことというふうに思います。ありがとうございました。

続きまして、学校部活動の今後の予定について説明をお願いいたします。

藤田課長。

○学校教育課長 私のほうから、今後の学校部活動についてということで、今お手元のほうに一枚物の紙をお配りしております。

先週、総合教育会議では大変貴重なご意見をありがとうございました。会議では部活動の現状についてご説明しましたが、本日は今後の部活動についてご説明したいと思います。

内容につきましては、先日の総合教育会議の中で教育長のほうから、今後段階的な部活動の縮小により教員の働き方改革を進めながら、地域移行に向けた体制を整えていくという下松市の実情を踏まえた方向性の話があったかと思っております。

それを踏まえて、この資料は学校、教員向けの資料でございます。できれば、11月中に、本日ご意見頂いたことも踏まえながら教職員に内容を周知していきたいと考えております。

冒頭、朱書きの部分がございます。基本的には平日、休日を含めた地域移行を目指していますが、市内の実情を踏まえ、まずは令和7年度末までに休日の移行を行い、平日についてはその後地域クラブ活動への移行を順次進めてまいりますという市としての進め方を

示してあります。

では、内容のほうに少し入っていきますが、方針のところをちょっと御覧ください。

方針を2つ載せております。

1点目は、地域移行に向けて部活動の活動日の変更を示しております。今年度は週5日で部活動を行っておりますが、来年度、令和6年度は週4日以内、7年度には週3日以内に活動を縮小していく方針です。

2点目ですが、令和8年度以降の部活動について示しております。週2日となります。原則平日のみ行うということで、休日が外れるということです。

次の今後の学校の部活動の流れについて御覧ください。表のところです。縦は年度ごとの入学生のことを示しており、横は年度でございます。それぞれの入学した生徒が卒業するまで、いつから縮小が始まって、どの程度部活動ができるのかをこの表で示しております。

表の下の初めの※印のところにありますように、縮小のタイミングは年度初めではなく、3年生の引退時というふうに考えております。例えば、令和5年度、一番上ですけれど、今年度入学した現在の1年生ですが、来年、6年度2年生のときにはその年の3年生が引退するタイミングで週4日に変更になり、それが自分の引退まで続くということを示しております。

7年度からも同様に、3年生が引退した後のタイミングで週3日となって、それは7年度終わりまで続いていきます。

8年度からについては週2日で、平日のみ、一応ここを境目として平日のみの部活動となります。

ただし、2つ目の※印のところにありますように、8年度については救済措置として、やはりここも3年生引退までは休日を入れる3日体制、これも継続させてよいというふうにしたいと考えております。

それからまた、平日のみになった場合、8年度は平日のみですが、やはり試合などは土日にありますので、特に必要な場合、休日に活動が必要な場合などについてはそれを行うことができるということを示していきたいと思っております。

それから、3つ目の※印のところには、これは時間のことが書いてありますが、令和7年度中に学校の実情に応じて、平日の部活動の終了時間を繰り上げていきたいというふうに考えております。教員の負担のことも考えまして、少しずつ時間を短くできたらと思っております。

それから最後の※印のところですが、これにつきましては7年度末までに休日、平日を問いませんが、もし地域クラブへの受入れ体制が整いましたら、子供とか親の意向であるとか先生方の意向も踏まえながら、その時点で移行していく可能性があるということを示してあります。

現在、ここまでの内容を小中学校の校長会において既に説明が終わっております。市内

校長先生方には概ねご理解をいただいているところでございます。

それから、教員につきましては先ほど申し上げましたように、11月中にできればこういった資料を持って周知できたらと思っております。

それから、市内小中学校の児童生徒、保護者につきましても、これは年内にはチラシ等もちまして同じように周知していきたいと考えております。

そのほかに、来年度中学校の仮入学や入学説明会等がありますので、入学生を中心にしながら説明してまいりたいと考えております。市の広報などももし使えれば、来年度使っていきたいと考えております。

今もしお気づき等ありましたらご意見等頂きたいと考えております。よろしく願いいたします。

○教育長 今お示したのは、あくまでも学校の部活動を今後3年間、あるいはそれ以降どのように縮小していくか、地域移行に併せて、そういう内容でございます。受入れ体制、地域の受入れ体制のことにつきましては、またお知らせできる時が来ましたらお知らせをしたいと思っております。

質問等ありましたら、お願いいたします。

江口委員。

○江口委員 夏休み、冬休み、春休みはどうなるんですか。

○教育長 藤田課長。

○学校教育課長 夏休み、春休み等は休日が長いということですね。今も同じように週5日という規定があります。平日については2時間、休日については土日どちらか3時間という規定がありますので、この総時間は変わらないということです。

○江口委員 それに合わせるわけですね。

○学校教育課長 そうです。そういった形でやっていきます。

○江口委員 分かりました。

○教育長 林委員。

○林委員 学校部活動と書いてあるのは、いわゆる地域で学校を使うから学校部活動という意味なのか、教員が必ず関わるから学校部活動というのか、この学校部活動という言葉の意味が分かりにくいので説明をお願いします。

○教育長 藤田課長。

○学校教育課長 ありがとうございます。今後の学校部活動というふうに書いておりますのは、今の学校の部活動が、今後移行期の間になくなるかということが書いてあるという意味なので、地域クラブのことは記載しておりません。

○林委員 ここには載ってないということですね。

○学校教育課長 はい。この学校部活動がどう変わっていったって、入った子供たちが学校部活動についてどう取り組んでいけるかということが書いてあります。

○教育長 木佐谷委員。

○**木佐谷委員** すみません、活動日の縮小のタイミングが3年生引退時というふうに書いてあります。結構部活動によって文化部と運動部、引退の時期が違うと思いますが、そのときは例えば運動部は早く3年生が引退しますけれど、週に3日のところと週に2日の子たちがいるというのが混在する感じにはなるのですか。

○**教育長** 藤田課長。

○**学校教育課長** おっしゃられるとおりです。スポーツで早く終わるところもあれば、文化部などで秋まであるところもあるので、その活動によって変わってくると思います。

○**教育長** だから、学校で一斉には難しいということですね。

そのほかございますか。よろしいですか。ありがとうございました。

それでは、そのほか報告事項等ございますか。

長弘館長。

○**図書館長補佐** ご案内なのですけれども、お手元に講演会のチラシを置いております。児童文学作家国松俊英さん講演会ということで、行事予定表にも入れておりますが、12月15日の金曜日、1時半から3時までで、児童文学作家の国松さんをお呼びして講演会を企画しております。

国松さんは、たくさんの児童文学を書いておられます。最近はノンフィクションの分野ですごく活躍をされていて、図書館にもたくさんの蔵書がございます。大変分かりやすい文章を書かれる方です。

今下松市で採用されている小学5年生の国語の教科書、東京書籍の国語の教科書に国松さんの書き下ろし作品の「手塚治虫」が掲載されております。その縁あって、この午後からの講演会の前、午前中に下松小学校を訪問して、5年生と国松さんの対話の時間を設けることで今企画をしております。今週初めに国松さんに聞いてみたいことということで、下松小学校の5年生から、20問ほど質問が出てきました。子供たちは大変面白い質問をたくさん考えていて、熱心に取り組もうという姿勢がよく見えて、国松さんも、とてもやる気になっておられます。面白い時間、楽しい時間が取れるのではないかなということで、すごく楽しみにしております。委員の皆さんも講演会まだ席に余裕がありますので、もし興味があればお申し込みいただけたらと思います。

以上です。

○**教育長** 出足はどんな状況ですか。

○**図書館長補佐** まだ10人弱ぐらいの申込みです。今、読み聞かせの活動をされている人たちへもチラシを配布をしているところです。

○**教育長** しっかりアピールをお願いいたします。

それと、下松小学校で対話の時間を取られるということですが、これは学校の中だけでということですか、報道発表とかかけられる予定ありますか。

○**図書館長補佐** 今学校に確認したら、報道発表してよいということで、国松さんから確認が取れ次第、図書館のほうから報道発表することになっています。

○**教育長** そのほかございますか。

金子課長補佐。

○**教育総務課課長補佐** 12月の行事の予定をお伝えします。資料は3ページになります。

12月は21日木曜日、定例会を1時半から501会議室で行います。よろしくお願
い
します。

以上です。

○**教育長** そのほかございませんか。

それでは、ないようですので、以上をもちまして本日の教育委員会定例会を閉会したい
と思います。お疲れさまでした。ありがとうございました。

午後14時5分終了